

A類保健体育コース 女子跳躍ブロック 1年 後小路葉月



○入試方法は？

学校推薦型選抜です。

○受験エピソードを教えてください

面接・小論文対策で図書館によく行くようになり、図書館は様々なジャンルの知識が凝縮されている場所だと感動しました。



○どうして東京学芸大学に？どうして陸上競技部に？

東京学芸大学が教育系大学のトップレベルであることと、高校で取り組んでいた種目の強い選手がいることが決め手となり東京学芸大学に決めました。また、様々な情報やチャンスが多い東京に身を置きたかったことも決め手の一つです。

前述したとおりもともと取り組んでいた種目を続けるつもりでした。ですが受験を通して、自分の生き方や競技への関わり方について、自分の本心と向き合うようになり、やりたいことが変化していって、陸上競技以外の目標もできました。それでも、今まで生活の中心だった種目と離れることは中々できなかったですし、今までと違う関わり方をすることで陸上競技をすることを楽しめるようになるかもしれないと思い入部しました。現在は、自分のやりたいことと向き合いつつ、跳躍ブロックとして活動しています。

○オフの日は何してる？

外出するときは、友人と映画を見たり、本を眺めるのが好きなので本屋に行くなどしています。家にいる時はたまたま課題をしたり、遅くまで寝たりしています。音楽は年中聞いています！



○1日のスケジュールを教えてください！

→集合練習のない日

7:00～ 起床、準備

8:05～ 出発、通学

8:30

～16:20 授業

16:30～ 練習・合唱・課題など(日によって違います)

20:15～ 買い物

21:00 帰宅

食事・課題・寝る準備

ゆっくりタイム

24:30 就寝



○1週間のスケジュールを教えてください！

月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日	土曜日	日曜日
練習 合唱 課題	練習 合唱 課題	集合練習 合唱	練習 合唱 課題	練習 合唱 課題	集合練習 合唱	課外活動 などに参加

課外活動では、5月末～10月中旬までは毎週「あきる野サマーチャレンジ」というものに参加していました。現在もイベントなどでたびたび集まっています。

○文武両道は大変ですか？

私にとっては大変です。一人暮らしの大学生活という環境の変化に加えて、課外活動など新しく始めたことも幾つかあり、特に春学期は大変でした。家に帰るとぼーっとしてしまいやらなきゃいけないことに手がつかなったり、課題を出し忘れたりしていました…。なので、秋学期は授業を取りすぎないよう気を付けたり、リマインダーを駆使したり、学校で課題をしてから帰るようにしています。やることが多いのは大変ですが、その分得られるものも多いと思っています。日々の計画を立てやりたいこと全部両立できるように頑張ります！

○東京学芸大学陸上競技部の魅力はズバリ！

他専攻の授業も受けられるところです！受けられないものもありますが、私は興味のある授業を自分の専攻の授業の空きコマに入れています。思い切ってやってみることでその学生と知り合いになれたり、興味が深まるのでおすすめです。

また教育大学ということもあります。人を高みへ導くことやつらい状況にある人に寄り添うことが出来る人がたくさんいます。一人じゃなくてみんなでより良くなろうと考えている人たちに毎日刺激を受けています。そのような人たちと共に過ごせていることが私の思う東京学芸大学の魅力です。

○最後に一言！

何かを続けることもやめることも始めるのも、どれにも勇気がいります。ですが、その決断の先に見てみたい何かがあるなら、その何かを信じて突き進んでください！そうあれるよう、心から応援しています。